

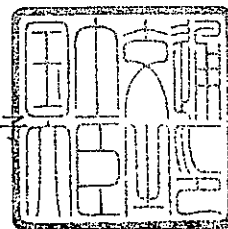


# 認 定 書

国住指第534号  
平成14年5月7日

三菱マテリアル建材株式会社  
取締役社長 野田文彦 様

国土交通大臣 林 寛



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第2条第七号及び同法施行令第107条第二号（間仕切壁（非耐力壁）：1時間）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

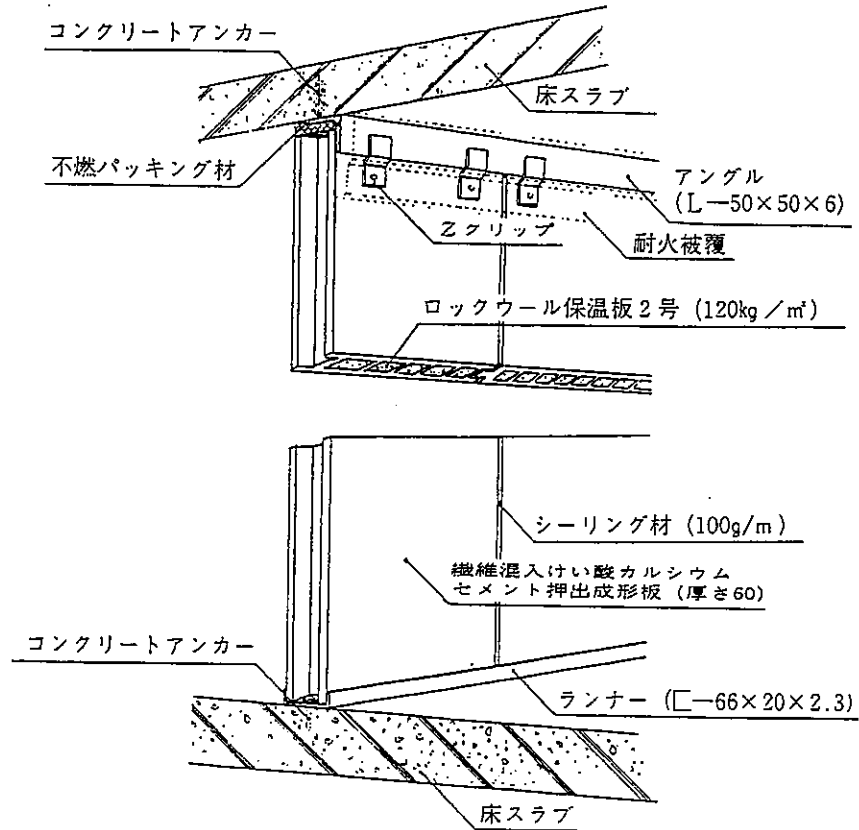
1. 認定番号  
FP060NP-9136
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
ロックウール充てん繊維混入けい酸カルシウムセメント押出板間仕切壁
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

耐火構造 第1章 壁 2時間耐火 W2252—繊維混入けい酸カルシウムセメント  
押出成形板(60mm)ロックウール充填間仕切  
壁<メースNA W-120> 32-1285

指定番号	<del>耐火 W2252</del>	指定年月日:平成3年10月3日 <del>(変更:平成6.10.11)</del>
品目名	<del>繊維混入けい酸カルシウムセメント押 出成形板(60mm)ロックウール充填間 仕切壁</del>	申請者名:三菱マテリアル建材(株) 東京都新宿区新宿2-3-10 (新宿御苑ビル) TEL(03)5269-7801 工場名:建材事業本部 市川工場 兵庫県神崎郡市川町神崎 769-1 TEL(0790)28-0212 明菱メース(株) 明野工場 茨城県真壁郡明野町鍋山 738 TEL(0296)52-5700 道菱メース(株) 美唄工場 北海道美唄市東8条北5-1-1 TEL(01266)8-8400
商品名	<del>メースNA W-120</del>	

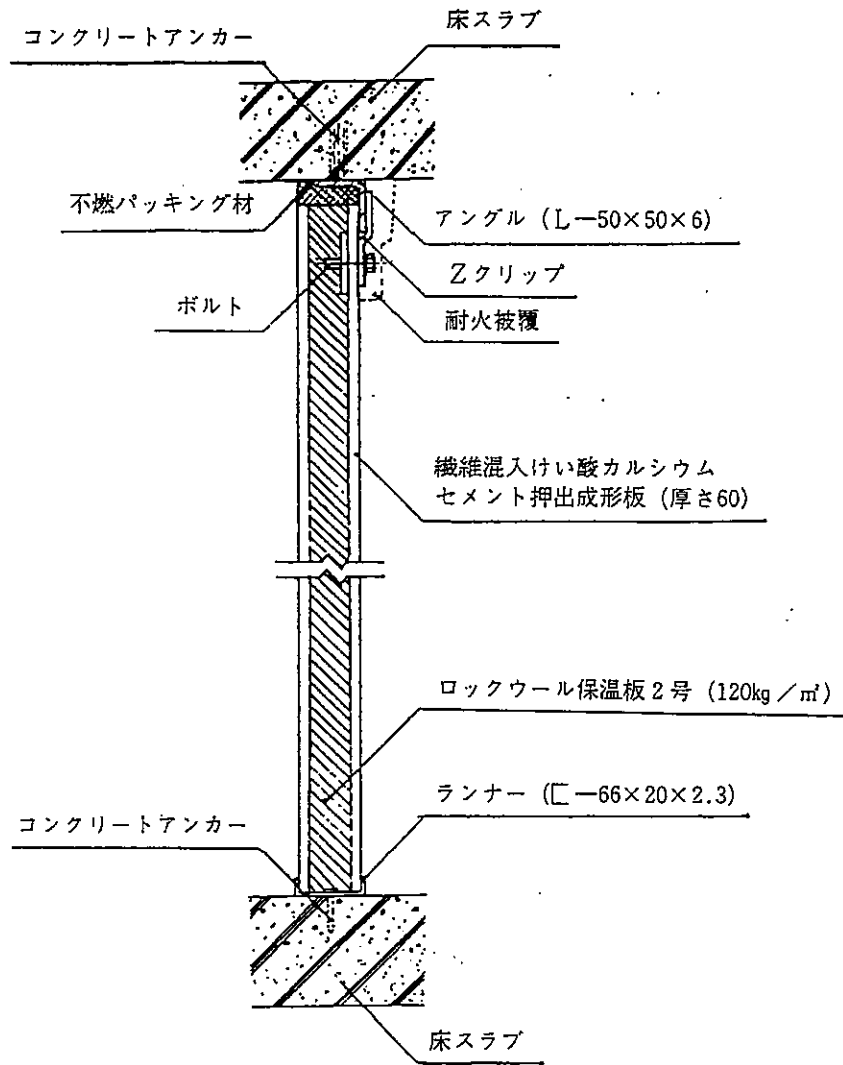
1. 部分、耐火性能の区分 間仕切壁 2時間耐火
2. 試験機関名 (財)建材試験センター中央試験所 受託番号 依試第47622号
3. 構造説明図(単位 mm)

耐火三六三三号

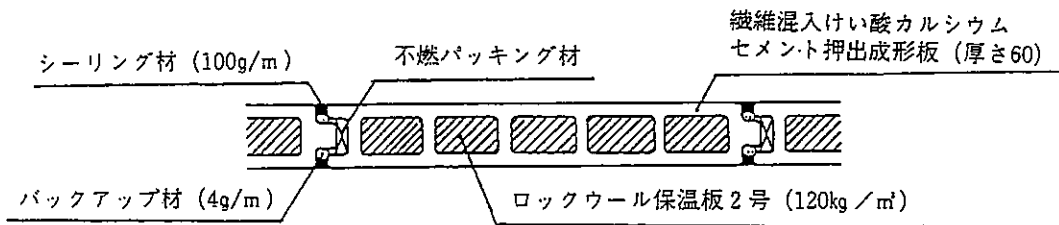


透視図

W2252-繊維混入けい酸カルシウムセメント  
 押出成形板 (60mm) ロックウール充填間仕切  
 壁<メースNA W-120>

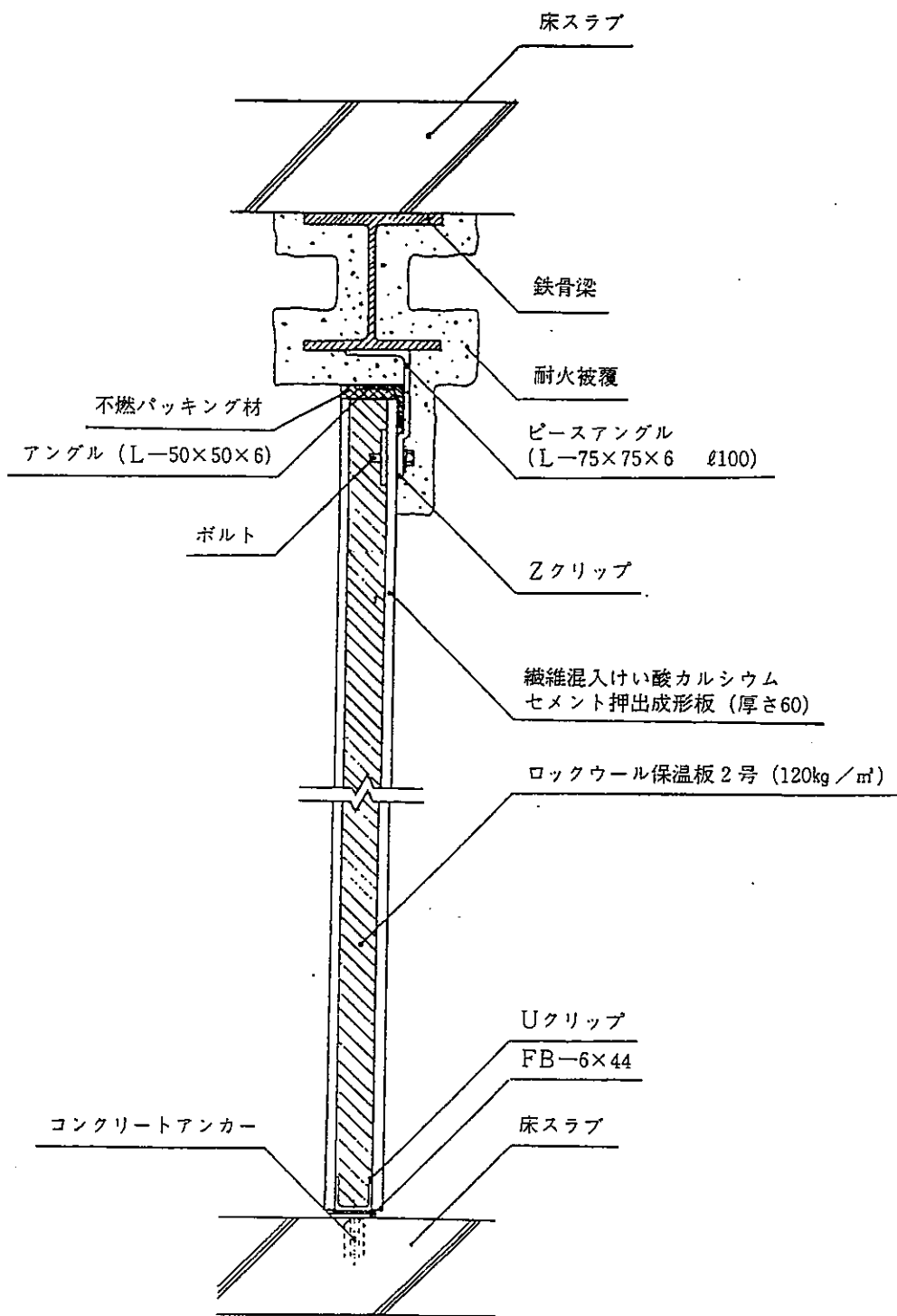


垂直断面図



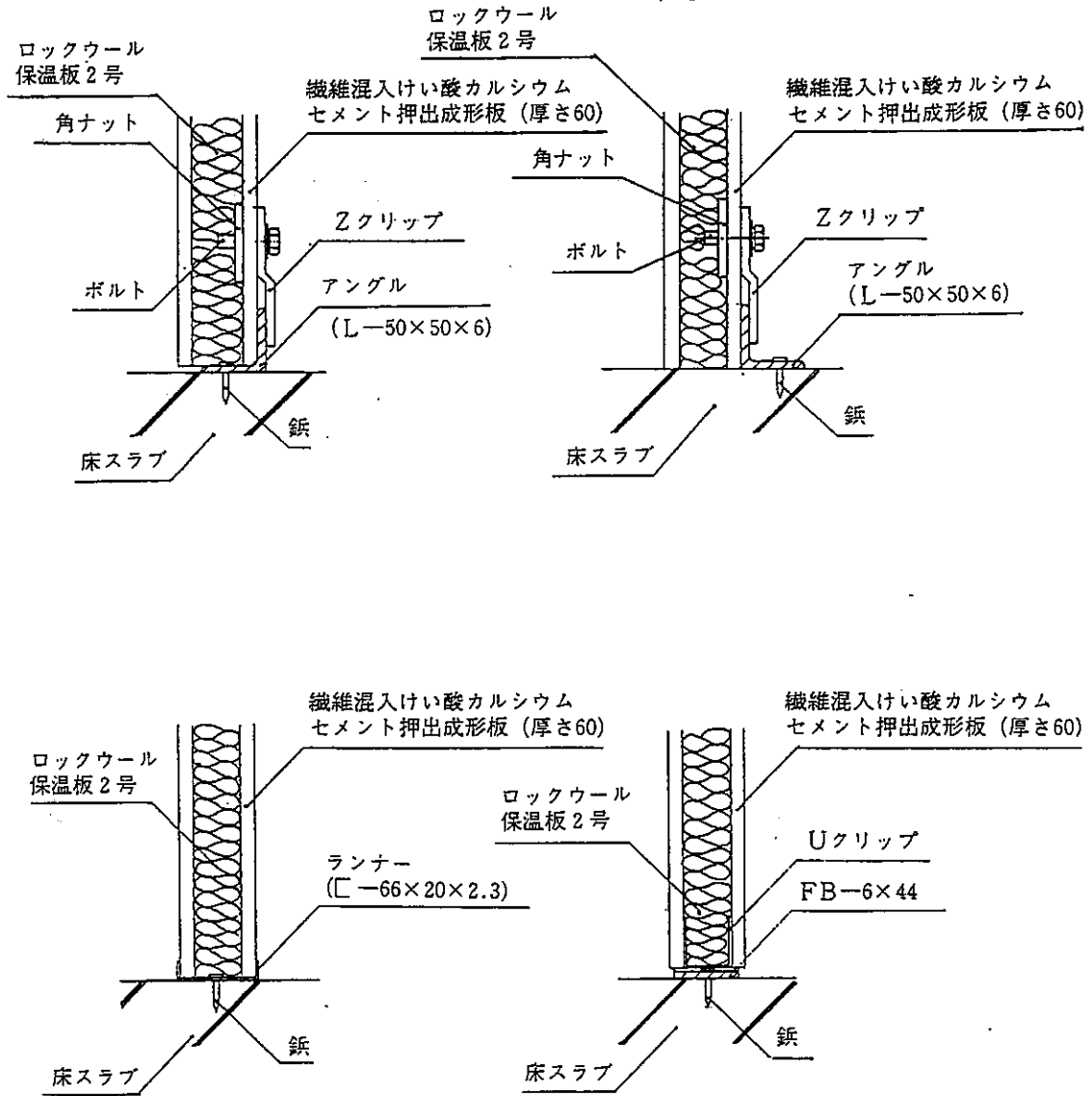
水平断面図

耐火三四〇号



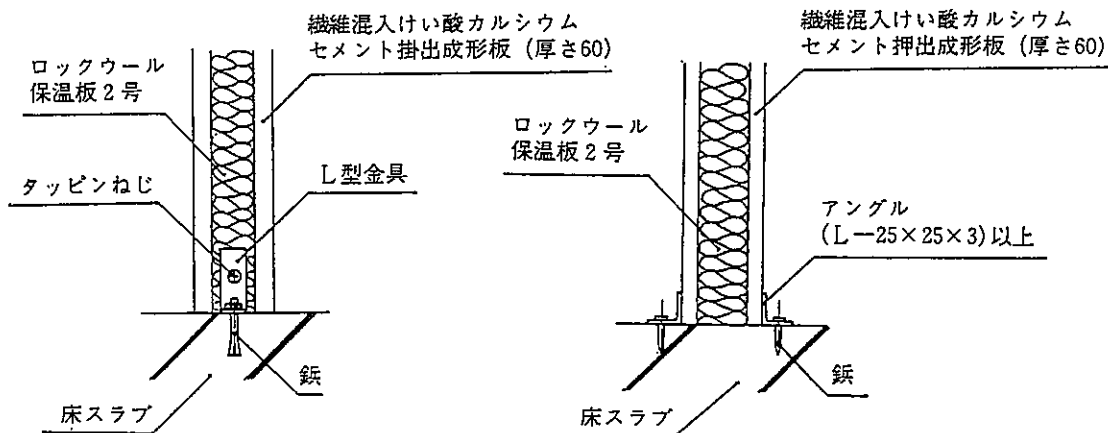
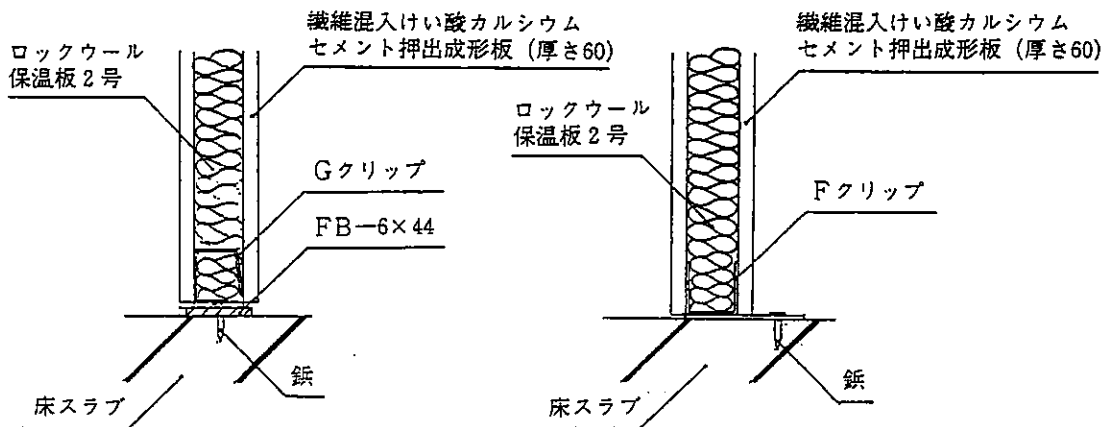
耐火三四〇号

垂直断面図



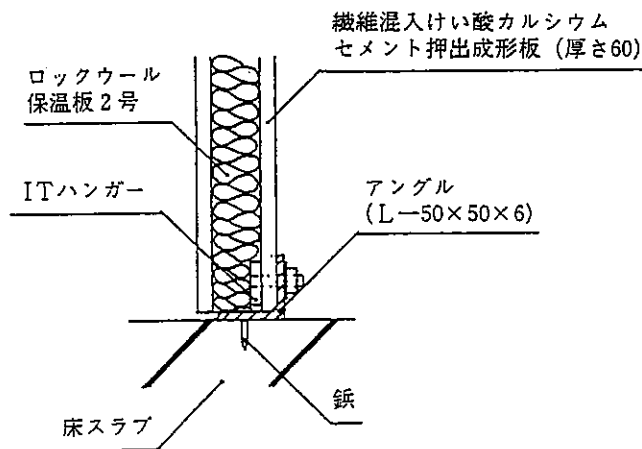
耐火三四〇号

断面詳細図 (取付け下部)

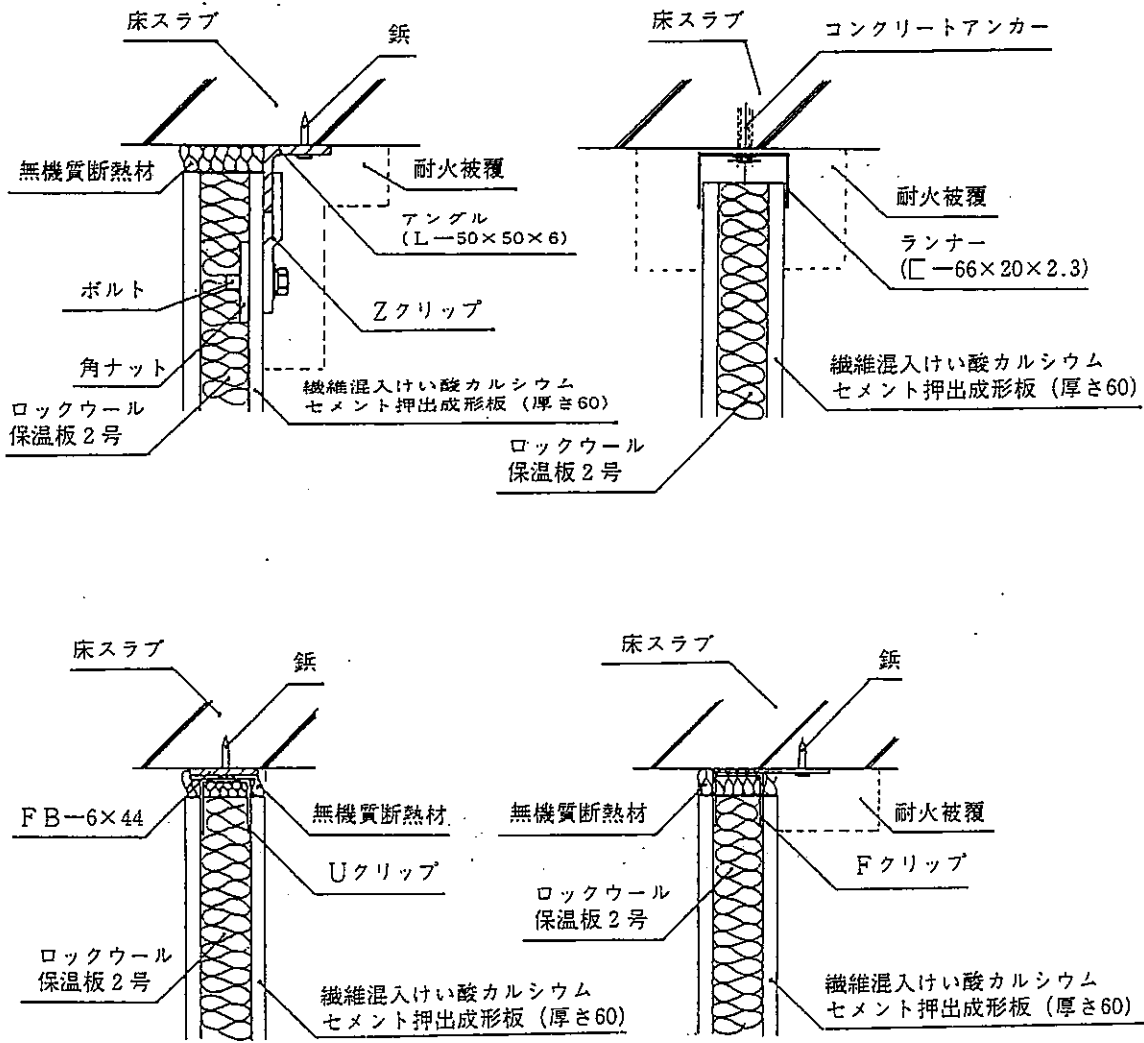


耐火三四〇号

断面詳細図 (取付け下部)

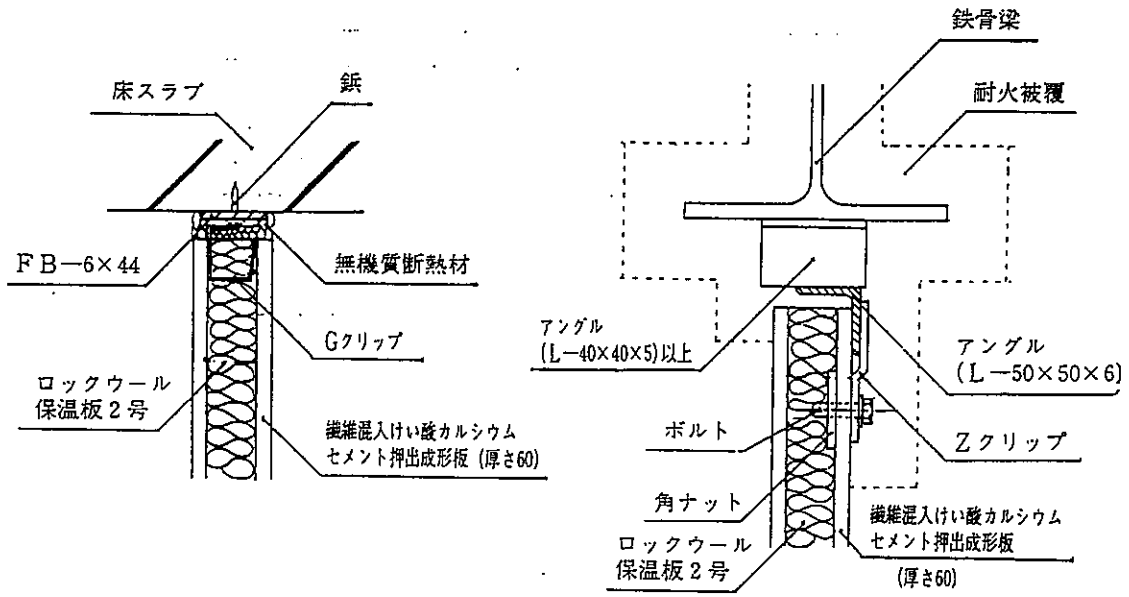


断面詳細図 (取付け下部)

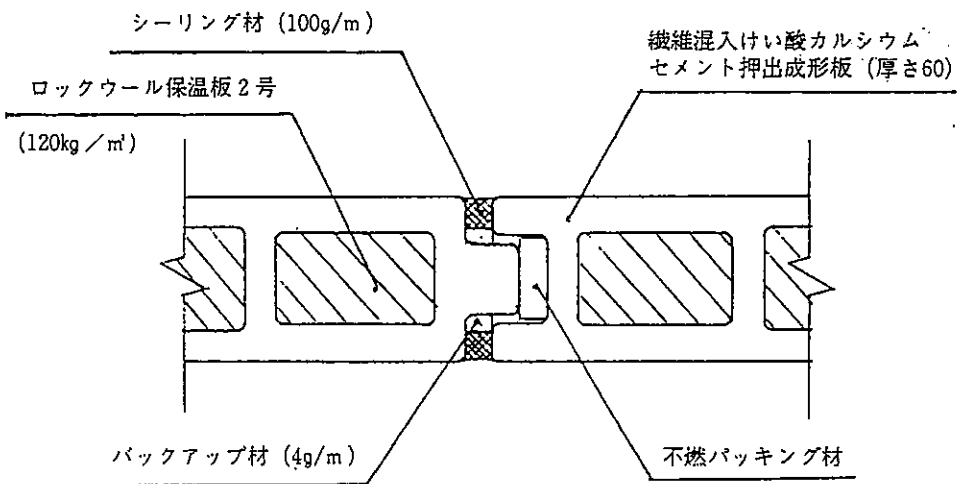


耐火三四〇号

断面詳細図 (取付け上部)



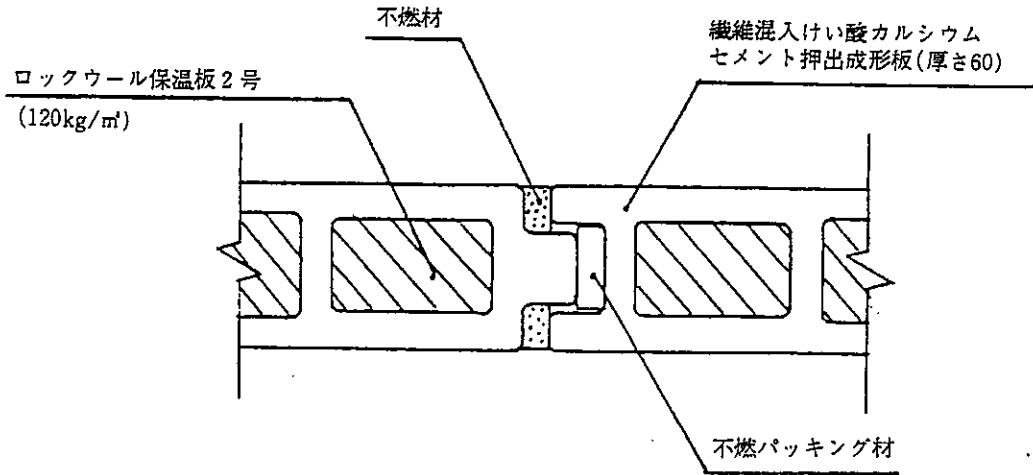
断面詳細図 (取付け上部)



目地詳細図

耐火三四〇号





目地詳細図

4. 材料等説明

4-1 主構成材料

(1) 繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板

~~—(商品名)メースNA(不燃(個)第11123号)—~~

(イ) 組成 (メースNA(不燃(個)第11123号))

材 料 名	配 合 比 Wt%
普通ポルトランドセメント (JIS R 5210)	55
けい酸質原料 (シリカ系)	41
有機繊維 (セルロース繊維)	3
有機混和材 (メチルセルロース)	1

(ロ) 性能 (パネル)

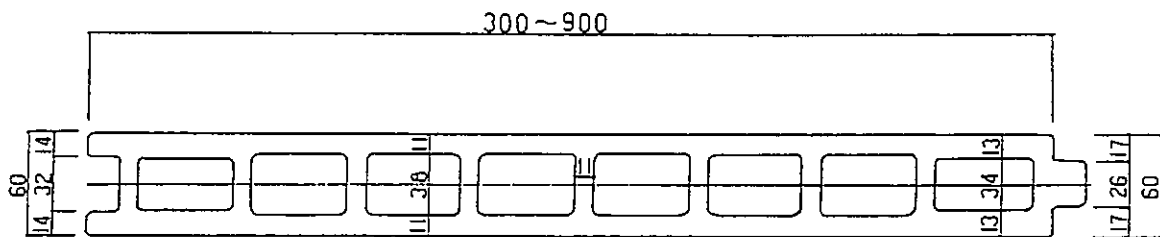
かさ比重: 1.8±0.2

曲げ強度: 100kg/cm<sup>2</sup>以上

吸水率: 16%以下

含水率: 10%以下 (出荷時)

(ハ) 形状及び標準寸法 (単位 mm)



耐火三六三号

項目	寸法	寸法精度
厚さ(全厚)	60	±2
肉厚	11(肉厚合計20以上)	+3、-2
長さ	5,000以下	0、-2
幅	300~900	0、-2

(2) 中空充填材

(イ) 品名: JIS A 9504 ロックウール保温板2号

(ロ) 充填量:  $120^{+20}_{-40}$  kg/m<sup>3</sup>

4-2 副構成材料

(1) アングル : L-25×25×3、L-50×50×6 (JIS G 3192)

(2) ピースアングル : L-40×40×5、L-75×75×6 (JIS G 3192)

(3) フラットバー FB-6×44 (JIS G 3192)

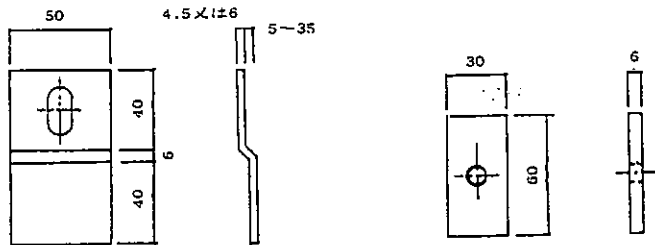
(4) ランナー : □-66×20×2.3 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)

(5) 留付金具 : Zクリップ、Uクリップ、Fクリップ、Gクリップ、L型金具  
 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)

ITハンガー

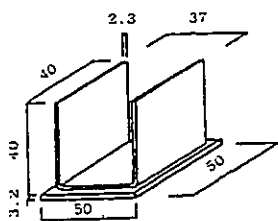
JIS G 3507	JIS G 4308	JIS G 3131
JIS G 3311	JIS G 3141	JIS G 4304
JIS G 4308		

耐火三六三三号

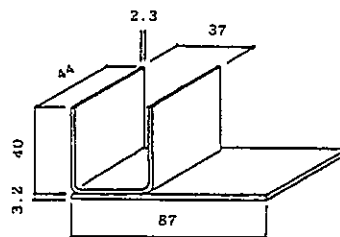


Zクリップ

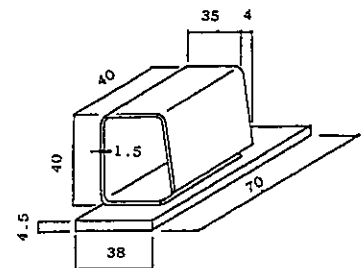
角ナット



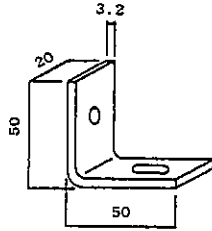
Uクリップ



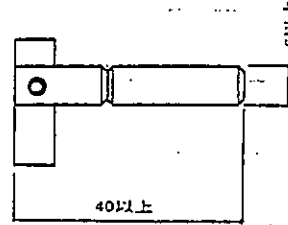
Fクリップ



Gクリップ



L型金具



ITハンガー

- (6) ボルト : M 8、W3/8又はM10ボルト (JIS B 1180)
- (7) 角ナット : 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101)
- (8) 不燃パッキング材: ロックウールフェルト (150±30kg/m<sup>2</sup>)

ガラス繊維マット [120<sup>+40</sup>/<sub>-20</sub>kg/m<sup>2</sup>]

ロックウール保温板 [120<sup>+20</sup>/<sub>-40</sub>kg/m<sup>2</sup>]

セラミックファイバーフェルト [120<sup>+40</sup>/<sub>-20</sub>kg/m<sup>2</sup>]

- (9) バックアップ材 : ポリエチレン発泡体 (4 g/m)
- (10) シーリング材 : 変成シリコン系、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系、ポリウレタン系、アクリル系、ブチルゴム系及びポリマーセメント系 (100±30g/m) 定形ガスケット
- (11) 不燃材 : グラスウール、ロックウール、セラミックウール (80kg/m<sup>2</sup>以上)

5. 標準仕様(施工仕様)

(1) 最初に、間仕切壁の水平及び垂直の墨出しを正確に行なう。

(2) 下地金物取付け

① Zクリップを使用する場合

パネル下部に使用する場合、床スラブにパネル受けアングル(L-50×50×6)を鋸、コンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

パネル上部に使用する場合、パネル受けアングルを上階の床スラブ下に鋸、コンクリートアンカー又は溶接で取付ける。鉄骨梁下の場合、予め梁下に取付けられたピースアングル(L-75×50×6 ℓ100)にパネル受けアングルを溶接で取付ける。

② ランナーを使用する場合

パネル下部に使用する場合、床スラブにランナー(□-66×20×2.3)を鋸、コンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

パネル上部に使用する場合、上階の床スラブ下にランナー(□-66×20×2.3)を鋸、コンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

③ Uクリップ又はGクリップを使用する場合

パネル下部に使用する場合、床スラブにフラットバー(FB-6×44)を鋸、コンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

パネル上部に使用する場合、上階の床スラブ下にフラットバー(FB-6×44)を鋸、コンクリートア

ンカー又は溶接で取付ける。

④ L型金具を使用する場合

パネル下部に使用する場合は、床スラブにL型金具をコンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

パネル上部に使用する場合は、上階の床スラブ下にL型金具をコンクリートアンカー又は溶接で取付ける。

(3) 留付金具の取付け

① Zクリップを使用する場合

予め工場で寸法切断及びロックウール充填されたパネルを台木上に平置きする。次にロックウールを一部取り除きZクリップ取付けボルトの穴をあけ、Zクリップを仮止めした後ロックウールを埋める。尚、パネル目地凹部に不燃パッキング材を挿入して取付け準備をする。

(4) パネルの建込み

① Zクリップを使用する場合

パネルを取付け位置に立て、予め取付けられたパネル受けアングル(L-50×50×6)に受けZクリップを仮締めして取付けを進める。

② ランナーを使用する場合

パネルを立て、予め取付けられた上部又は下部のランナーに入れ込む。

③ Uクリップ又は、Gクリップを使用する場合

パネルの中空部にUクリップ又は、Gクリップを入れ、予めスラブ上または、上階のスラブ下に取付けられた、フラットバー(FB-6×44)の位置にパネルを移動し、Uクリップ又は、Gクリップをフラットバーに仮溶接し、取付けを進める。

④ L型金具を使用する場合

パネルを立て、予め取付けられたL型金具にタップねじで取付ける。

(L型金具を予め取付けていない場合は、パネルを立てた後L型金具を床スラブ及びパネルに取付ける。)

⑤ パネルは1枚毎、目地幅10mmにして建込み、垂直、水平、割付け、目地通りを確認しZクリップは本締めし、Uクリップ、Gクリップはフラットバーに溶接固定して建込みを進める。

⑥ ジョイント目地は、底部にバックアップ材を挿入しシーリング材を充填するか、又は不燃材を充填する。又壁端末部は隙間に不燃パッキング材を埋め必要に応じてシーリング材を充填する。

⑦ 上部アングル、上部Zクリップ及び鉄骨梁などは、耐火被覆を行う。

~~8. 施工管理~~

~~繊維混入けい酸カルシウムセメント押出成形板の施工は、三菱マテリアル建材株式会社の責任施工、又は指定販売店の施工とし、三菱マテリアル建材株式会社の責任管理とする。~~

~~(建設業者登録番号：建設大臣許可(般一)第5771号)~~

7. 留意事項

(1) 運搬

車輛に依る運搬は長手方向に平積とし、隅角部の保護当板やクッション材を挿入輸送中は必ずビニールシート掛けを行い、雨水等に注意する。

(2) 保管

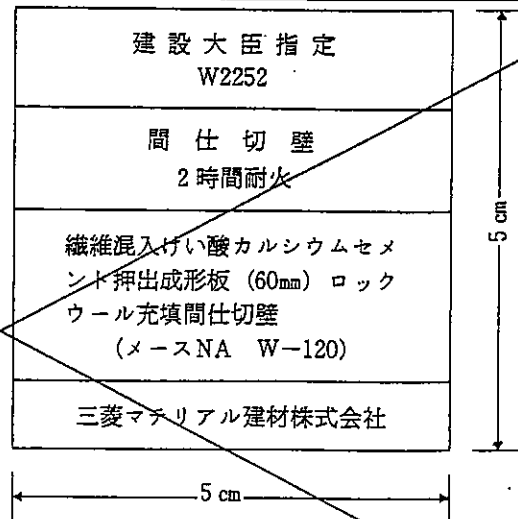
屋内等の乾燥した平坦な場所に台木を置き、その上に水平に積み上げる。

積み上げ高さは1m以内とする。やむを得ず屋外に保管する場合は、ビニールシート掛けなどの防水保護を行う。

8. 付帯条件 なし

9. 表示及び報告

- (1) 製品及び包装には右図の指定マークを貼付、押印又はその他の方法で表示する。
- (2) 現場施工完了後に見え隠れとなる部分には、できるだけ多くの点検可能な部分に指定マークを付す。
- (3) 表面仕上げにより点検できない部分には、仕上げの表面に指定マークを付す。
- (4) 現場施工完了後に見え掛りとなる部分には、各室又はこれに準ずる用途上の区分毎に見やすい位置2カ所以上に指定マークを付す。
- (5) 毎年度、本製品の生産実績、販売実績(又は使用実績)、工場における品質管理の状況等を当該年度終了後1カ月以内(4月1日~4月30日迄)に建設大臣に報告する。



## 9. 注意事項

当該認定書において、「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正前の建築基準法の規定による建設大臣の認定仕様がある場合は、平成14年6月1日以降は「建築基準法の一部を改正する法律」(平成10年法律第100号)による改正後の建築基準法の規定による当該認定仕様に係る国土交通大臣の認定仕様を用いるものとする。